

力一杯、今を生きる

思春期の成長を支える PTA活動をめざして

鹿児島市立西陵中学校PTA研修部
研修部部长



本校は、鹿児島市中央駅から西方の丘陵地に位置し、桜島や大隅の山並みを望む静かな環境の中にあり、今年で創立43年を迎えます。

社会の変化やコロナ禍を経て、子供たちを見守る活動中心に、保護者と学校が協力しながら「思春期の成長を支えるPTA活動」を目指しています。

今回は令和7年に行われたPTA活動研究委嘱公開での発表内容についてご紹介いたします。

①執行部と各専門部との話し合い

執行部員と各専門部長とで、目的に沿って活動

がなされているかを振り返り、課題や改善点などを明確にして、次年度の活動計画を立てる。

各部の活動が目的に沿っているかを振り返り、必要であれば改善しながら次年度へと引き継ぐことでPTA活動が子供や保護者にとって無理のない、意義ある活動になればと考えている。

具体的な取組「生活安全部」

子供たちが安全な環境の中で成長できるようにサポートする。

※これまでの「生活指導部」から「生活安全部」に名称を変更

「指導」ではなく「見守り・声掛け・防犯防止」のための補導活動をしている。

「生徒育成部」

学校、地域、家庭と連携し、子供の自立と成長を見守る。

※資源回収を廃止し、リサイクルマーケットへ新入生の学校説明会の日に合わせて、「リサイクルマーケット」を開催している。各家庭で不要になった制服や学用品を持ち寄り、必要とする方にお譲りするイベントをしている。この活動は、「持続可能な社会」を目指す持続可能な開発目標の考え方に基づいている。また、地域の幼稚園や保育園にも案内し、小学校時代に使用した制服などのリサイクルも進めている。

「研修部」

学びの場に参加し、親としての資質向上を目指す。研究視察（高校訪問の復活）
公立・私立それぞれの

教育方針や校風を実際に見て子供の進路選択の参考にしている。

②アンケートによる保護者の意識・実態の把握

令和7年度は現在のPTA活動に対する意見・要望と、「思春期の子育

アンケートによる保護者の意識・実態の把握

PTA運営や活動について、会員の意識やニーズを把握するために、アンケートを実施し、特に取り組んで欲しい活動について調査した。

令和7年度7月実施アンケート結果（一部抜粋）

SNSやネットトラブルへの心配…メディアコントロールについての関心は高い



●親子で学ぶネット対策・携帯利用方法の講座を企画してほしい。（1年生 保護者）

●部活がとても楽しいです。
●ゲームも好きです。（1年生 子ども）

「研修視察（高校訪問）」子どもの進路・選択肢についても関心が高い

●通信制の高校も選択肢として入れてほしい。（2年生 保護者）

●研修部の「高校訪問」は親としてもとても楽しいので続けてほしい。（3年生 保護者）

思春期の子供らについて思うこと・願うこと

●沢山の本を読んだり、いろいろな音楽を聴いて心に響く物を見つけてほしい。自分自身を好きでいてほしい。（1年生 保護者）



●反抗期対策があればおしえていただきたい。男の子、女の子各々知りたい。
●親子ともにイライラしないで済む対策を知りたい。（2年生 保護者）

思春期の子供らから伝えたいこと

●強くあたってしまうこともあるけど、いつも支えてくれることに感謝しています。（3年生 子ども）



●思春期になって自分の思い通りにいかないことや判断できなくなることもあるけど見守ってね。（2年生 子ども）

て」に関する意見をまとめた。

授業参観や学校行事といった子供の活動に対する関心が高く、そのサポートにも大変協力的であるが、その他のPTA活動となると時間の確保の難しさから参加率が下がる傾向がみられる。現状の活動については「メディアコントロール」と「高校訪問」への関心・要望が多く寄せられた。

また、「思春期における子供への声掛けについて知りたい」「子供との接し方について学びたい」という意見が多く寄せられた。

「研究の成果と課題」

○執行部と各専門部長に

よる活動の具体的な振り返りを行うことにより、各活動の意義や目的が明確となり、形骸的ではなく自発的な活動へ改善を図ることができた。

○「思春期の子育て」を含めたアンケートを通して、子供に直接かかわる活動に関心があることが分かり、保護者が子供の成長にしっかりと向き合いたいという願いが強く感じられた。これらを次年度の活動に生かしていきたい。

△現在は各専門部・担当者の活動としては充実しているが、係だけの活動となってしまうものも多いため、ほかの保護者と共有していくための工夫が必要である。